

# ノムラファンドマスタートーズ世界債券 Aコース<為替ヘッジ付き>

追加型投信/海外/債券

## 交付運用報告書

第228期(決算日2023年8月21日)

第229期(決算日2023年9月20日)

第230期(決算日2023年10月20日)

第231期(決算日2023年11月20日)

第232期(決算日2023年12月20日)

第233期(決算日2024年1月22日)

作成対象期間(2023年7月21日~2024年1月22日)

### 第233期末(2024年1月22日)

基準価額	7,475円
純資産総額	646百万円

### 第228期~第233期

騰落率	△ 0.1%
分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界の債券(国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債など。世界の高利回り事業債(ハイ・イールド債)およびエマーシング・カンTRIESの政府、政府機関、もしくは企業の発行する債券(エマーシング・マーケット債)を含みます。)に実質的に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長を目的として運用を行ないます。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

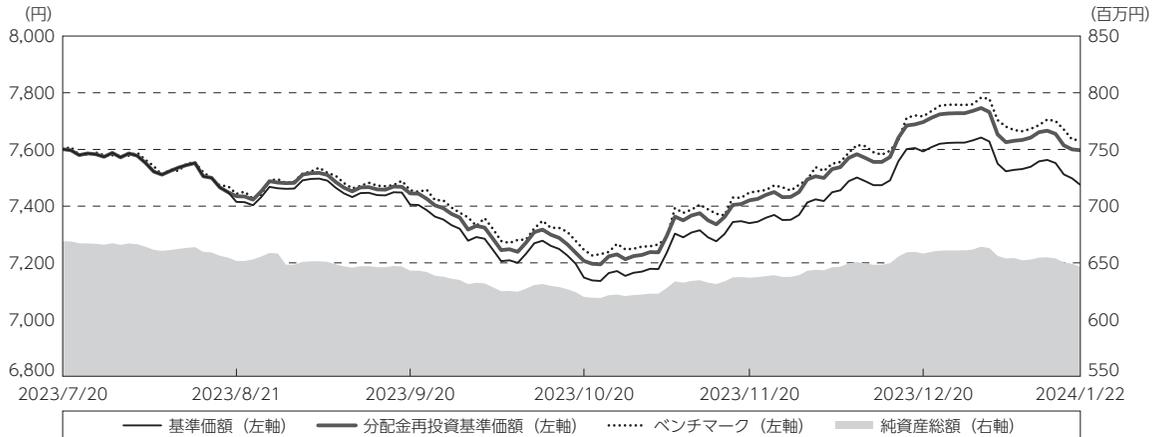


ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2023年7月21日～2024年1月22日)



第228期首：7,601円

第233期末：7,475円 (既払分配金(税込み):120円)

騰落率：△ 0.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年7月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、債券種別等毎の代表的な指数と配分比率をもとに、当社が独自に為替ヘッジコストを考慮して円換算した指数(円ヘッジベース)から合成したものです。詳細は5ページをご参照ください。ベンチマークは、作成期首(2023年7月20日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

基準価額は当作成期首の7,601円から当作成期末には7,475円となりました。

当作成期中は、1万口当たり合計120円の分配金をお支払いしました。

## (上昇要因)

FRB(米連邦準備制度理事会)およびECB(欧州中央銀行)による政策金利引き上げが終了したとの見方が高まり、米国ハイ・イールド債、欧州ハイ・イールド債などが値上がりしたこと。

## (下落要因)

主に為替ヘッジコストがマイナスに作用したこと。

## ○指定投資信託証券の騰落率（分配金込み）

指定投資信託証券名	第228期～第233期
ノムラ海外債券ファンド（カスタムBM型）FC	-1.0%
ノムラマッコリー豪州債券ファンドFC	-0.3%
NPEBパン・ヨーロピアン・ボンド・ファンドFC	0.3%
フランクリン・テンプルトン・米国債券コア・プラスFC	-2.3%
フランクリン・テンプルトン・オーストラリア債券ファンドFC	-0.7%
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－米国債券FC	-2.0%
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－欧州債券FC	1.1%
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－米国ハイ・イールド・ボンドFC	1.7%
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅣ－欧州ハイ・イールド・ボンドFC	4.5%
野村エマージング債券ファンドFC	1.5%
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－新興国債券FC	0.2%
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－新興国現地通貨建債券FC	-4.4%

※騰落率は、当ファンドにおける指定投資信託証券の評価時点に合わせて計算を行なっております。また、分配金込みで計算しております。

※当作成期間中に、追加/除外となった指定投資信託証券（投資対象ファンド）については、掲載いたしておりません。

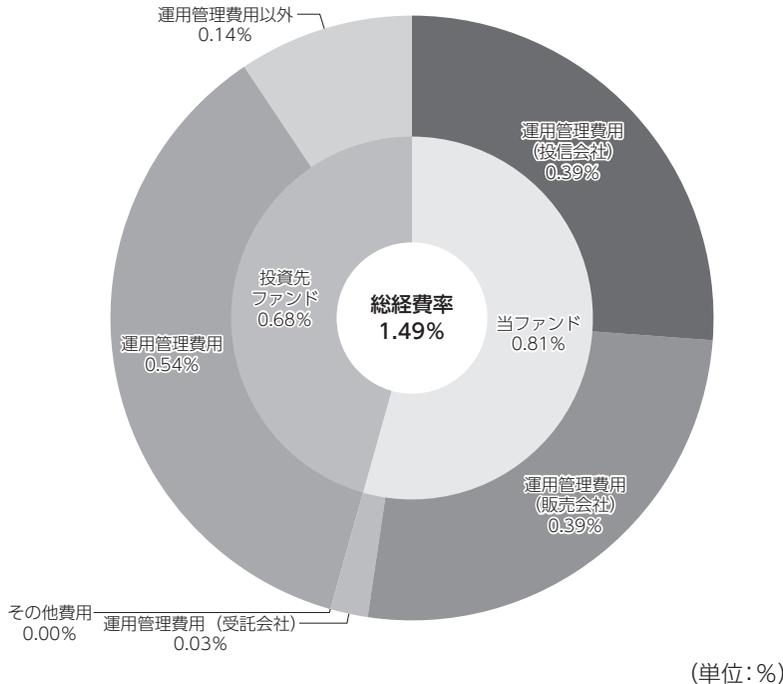
※当ファンドで投資をしていない期間についても騰落率の計算に含んでおります。



## (参考情報)

## ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.49%です。

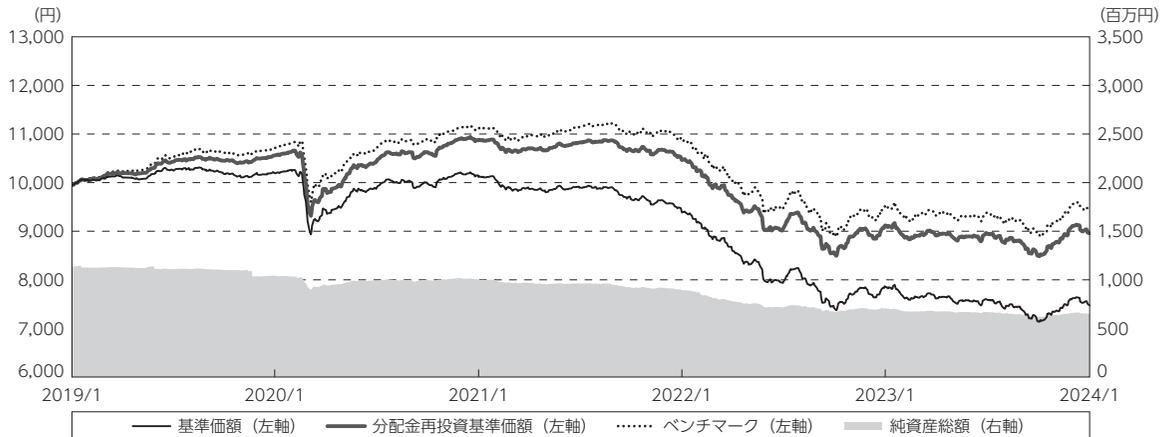


総経費率(①+②+③)	1.49
①当ファンドの費用の比率	0.81
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.54
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
(注) 当ファンドの費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
(注) 投資先ファンドの費用は、投資先ファンドの開示基準に基づき算出したものです。  
(注) 各比率は、年率換算した値です。  
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。  
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。  
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。  
(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。  
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2019年1月21日～2024年1月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2019年1月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、債券種別等毎の代表的な指数と配分比率をもとに、当社が独自に為替ヘッジコストを考慮して円換算した指数(円ヘッジベース)から合成したものです。詳細は以下をご参照ください。ベンチマークは、2019年1月21日の値が分配金再投資基準価額と同一となるように計算しております。

	2019年1月21日 決算日	2020年1月20日 決算日	2021年1月20日 決算日	2022年1月20日 決算日	2023年1月20日 決算日	2024年1月22日 決算日
基準価額 (円)	9,945	10,193	10,115	9,384	7,856	7,475
期間分配金合計(税込み) (円)	—	360	360	360	330	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.2	2.9	△ 3.8	△ 12.8	△ 1.8
ベンチマーク騰落率 (%)	—	7.8	3.7	△ 2.4	△ 12.0	△ 1.4
純資産総額 (百万円)	1,134	1,041	999	892	705	646

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

\*ベンチマークは、下記の債券種別等毎の代表的な指数と配分比率をもとに、当社が独自に為替ヘッジコストを考慮して円換算した指数(円ヘッジベース)から合成したものです。

なお、算出にあたっては、組入資産・為替の評価時点に合わせて計算しているため、ブルームバーグ、ICE Data Indices, LLC、J.P.Morgan Securities LLCが各々公表する数値とは異なります。

【米国債券】ブルームバーグ・米国総合インデックス：10%

【欧州債券】ブルームバーグ・汎欧州総合インデックス：30%

【豪州債券】ブルームバーグ・オーストラリア総合インデックス：10%

【ハイ・イールド債】ICE BofA Global High Yield Constrained Index：25%

【エマージング・マーケット債】JPモルガン・エマージング・マーケット・債券・インデックス・グローバルおよびJPモルガン・ガバメント・債券・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドを80%：20%の比率で合成した指数：25%

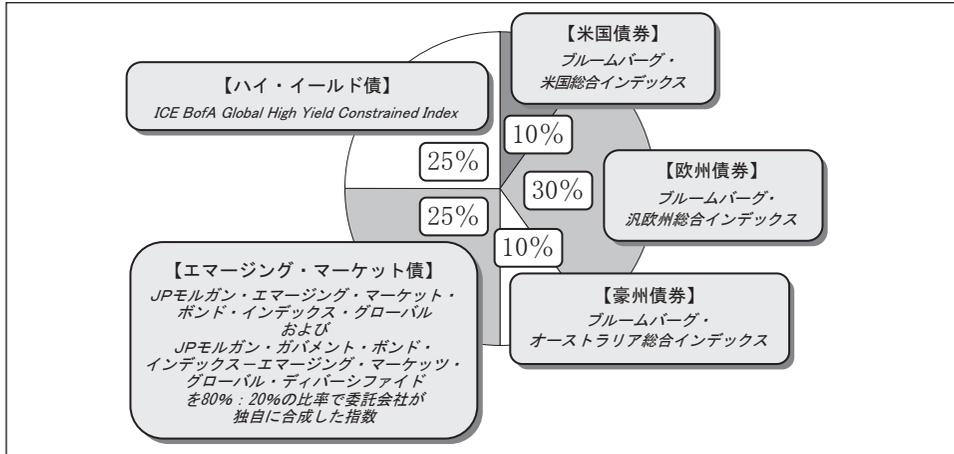
(出所) J.P.Morgan Securities LLC、ブルームバーグ

(出所と許可) ICE Data Indices, LLC

## ◎ベンチマーク（合成指数）の構成

債券の種別等毎の代表的な指数を委託会社が以下の比率で合成した指数をベンチマークとします。

Aコースのベンチマークの計算にあたっては、各指数を委託会社が為替ヘッジコストを考慮して円換算した指数を用います。



※ベンチマークは、市場の構造変化等によっては、今後見直す場合があります。

- ※「Bloomberg®」およびブルームバーグ・米国総合インデックス、ブルームバーグ・汎欧州総合インデックス、ブルームバーグ・オーストラリア総合インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグは野村アセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、ノムラファンドマスターズ世界債券Aコースを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ノムラファンドマスターズ世界債券Aコースに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
- ※ICE BofA Global High Yield Constrained Indexは、ICE Data Indices, LLCが算出する、米国ドル、カナダドル、英ポンド、ユーロ（ユーロ統合前の通貨を含む）建てで発行されたハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数です。「ICE BofA Global High Yield Constrained Index SMV®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社（「ICEデータ」）の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。
- ※JPモルガン・エマーシング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル（J.P.Morgan Emerging Market Bond Index Global）およびJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（J.P.Morgan GBI-EM Global Diversified）は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している、エマーシング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

**投資環境**

(2023年7月21日～2024年1月22日)

**<債券市場>**

FRB（米連邦準備制度理事会）およびECB（欧州中央銀行）による政策金利引き上げが終了したとの見方が高まり、米国ハイ・イールド債、欧州ハイ・イールド債などは堅調な展開となりました。

(注) 上記の環境の説明は、金利収入を含めた各債券市場全体の収益に基づくものです。

**<為替市場>**

為替レートは対顧客電信売買相場仲値を用いて算出しています。また対象期間は、原則として投資対象ファンドにおける組入資産の評価時点に合わせています。

FRB（米連邦準備制度理事会）による政策金利引き上げが終了したとの見方が高まり米ドル安となる局面もあったものの、能登半島地震を背景に日銀が金融緩和姿勢を維持するとの見方が高まり、当作成期間で、米ドルは円に対して上昇（円安）となりました。

ただし、Aコースは為替リスクをヘッジ（回避）する投資信託証券を組み入れているため、上記の為替市場の変動の影響をほとんど受けておりません。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年7月21日～2024年1月22日)

**・投資信託証券組入比率**

投資方針に基づいて、当作成期を通じて高位の組入れを維持しました。

**・指定投資信託証券の見直し**

当作成期間において見直しは行ないませんでした。

**・債券種別配分**

各債券種別への実質的な投資比率については、ベンチマークにおける債券種別の配分を意識して、定期的に債券種別間で投資信託証券の配分を調整しました。

**・各投資対象ファンドの投資比率の推移**

ポートフォリオ全体の種別配分や通貨配分などのリスク特性がベンチマークからかい離しないようにすることを意識し、各ファンドの投資比率を決定しました。

当作成期間において、ポートフォリオ全体に大きな変更は行ないませんでした。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年7月21日～2024年1月22日)

当作成期間に、基準価額の騰落率\*は-0.1%となり、ベンチマーク（6ページ参照）の+0.4%を0.5ポイント下回りました。

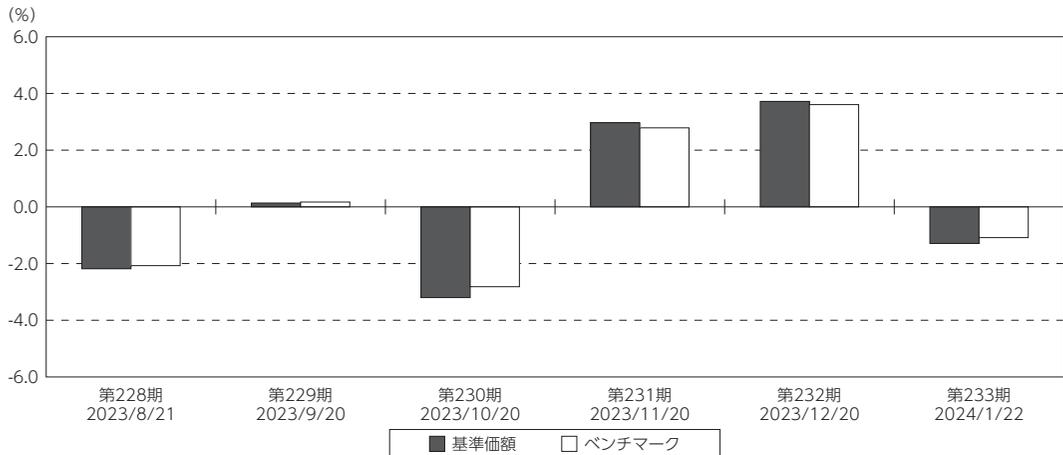
\*基準価額の騰落率は分配金（税込み）を再投資したものととして算出しております。

## 【主な差異要因】

## (マイナス要因)

「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡー米国ハイ・イールド・ボンドFC」の騰落率が、米国ハイ・イールド債市場の平均を下回ったこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、債券種別等毎の代表的な指数と配分比率をもとに、当社が独自に為替ヘッジコストを考慮して円換算した指数（円ヘッジベース）から合成したものです。

## 分配金

(2023年7月21日～2024年1月22日)

収益分配金については、経費控除後の配当等収益等を中心に基準価額水準を勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期	第233期
	2023年7月21日～ 2023年8月21日	2023年8月22日～ 2023年9月20日	2023年9月21日～ 2023年10月20日	2023年10月21日～ 2023年11月20日	2023年11月21日～ 2023年12月20日	2023年12月21日～ 2024年1月22日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.269%	0.269%	0.279%	0.272%	0.263%	0.267%
当期の収益	—	5	3	—	9	—
当期の収益以外	20	14	16	20	10	20
翌期繰越分配対象額	1,051	1,037	1,021	1,009	999	981

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

引き続き、以下のように、定性的に高く評価したファンドを中心にリスク分散を考慮して投資することで、多くの運用者の資産運用力を効率よく活用し、高水準のインカムゲインの獲得とともに、トータルでの運用成果を追求してまいります。

- (1) 各投資対象ファンドについて、ファンドの運用目標を中長期的に安定して達成する可能性を定性的に評価します。
- (2) 各投資対象ファンドのリスク特性(値動きに影響を与える特徴的な要因)を定量的に分析します。
- (3) 定性的に高く評価したファンドを中心に組み入れ、かつポートフォリオ全体としてのリスク特性がベンチマークと大きくかけ離れないよう、組入ファンドの投資比率の調整を行いません。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

## お知らせ

該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

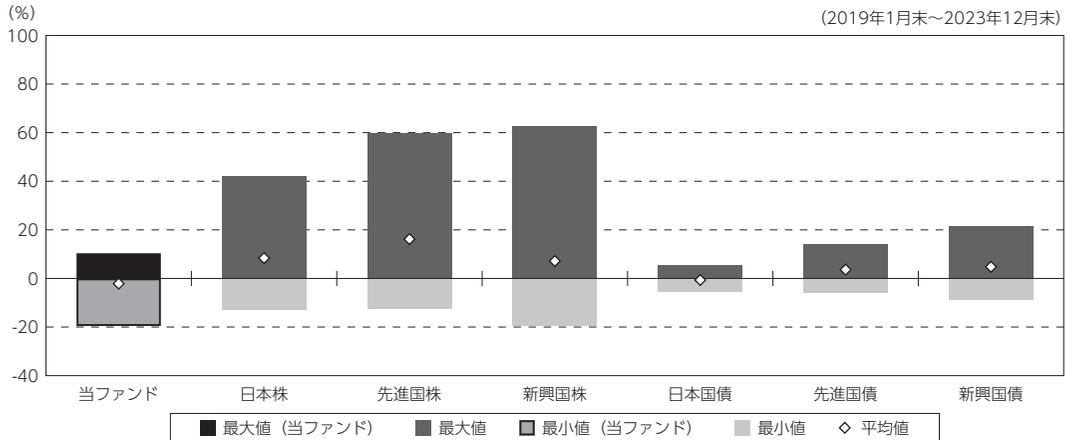
商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2004年7月29日以降、無期限とします。
運用方針	高水準のインカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長を目的として運用を行ないます。主として、世界の債券（国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債など。世界の高利回り事業債（ハイ・イールド債）およびエマーシング・カントリーの政府、政府機関、もしくは企業の発行する債券（エマーシング・マーケット債）を含みます。）に実質的に投資する投資信託証券に投資します。投資する投資信託証券については、実質的な外貨建資産については為替ヘッジを行なうことを基本とするもの、または実質的な外貨建資産の通貨配分の如何に関わらず、原則として当該投資信託または当該投資信託が組み入れるマザーファンドのベンチマークの通貨配分をベースに対円での為替ヘッジを行なうことを基本とするもの、もしくはこれらに類するものに限定することを基本とします。組入投資信託証券については適宜見直しを行ないます。
主要投資対象	主として有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	世界の債券（国債、政府機関債、地方債、国際機関債、社債など。世界の高利回り事業債（ハイ・イールド債）およびエマーシング・カントリーの政府、政府機関、もしくは企業の発行する債券（エマーシング・マーケット債）を含みます。）に実質的に投資する投資信託証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長を目的として運用を行ないます。
分配方針	毎決算時に、原則として配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響を受け、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	10.4	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
最小値	△ 19.6	△ 12.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 2.1	8.4	16.2	7.2	△ 0.7	3.6	4.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

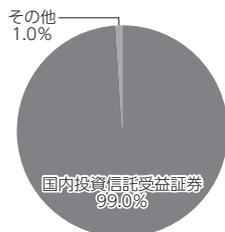
## 組入資産の内容

(2024年1月22日現在)

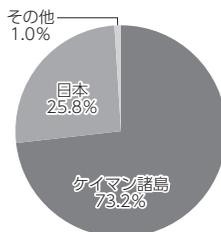
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第233期末
	%
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－米国ハイ・イールド・ボンドFC	18.0
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－欧州債券FC	15.9
ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－新興国債券FC	14.9
その他	50.3
組入銘柄数	12銘柄

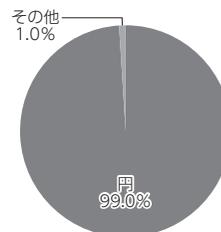
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

## 純資産等

項目	第228期末	第229期末	第230期末	第231期末	第232期末	第233期末
	2023年8月21日	2023年9月20日	2023年10月20日	2023年11月20日	2023年12月20日	2024年1月22日
純資産総額	651,674,058円	643,106,089円	619,959,878円	636,909,051円	658,257,887円	646,514,339円
受益権総口数	878,801,480口	868,462,739口	867,379,741口	867,675,823口	866,945,427口	864,857,840口
1万口当たり基準価額	7,415円	7,405円	7,148円	7,340円	7,593円	7,475円

(注) 当作成期間中（第228期～第233期）における追加設定元本額は7,894,059円、同解約元本額は23,282,087円です。

## 組入上位ファンドの概要

## ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－米国ハイ・イールド・ボンドFC

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。  
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## 【純資産価格の推移】

(2022年2月1日～2023年1月31日)



(注) 分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

## 【1万口当たりの費用明細】

(2022年2月1日～2023年1月31日)

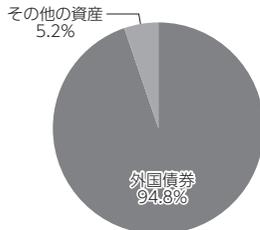
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

## 【組入上位10銘柄】

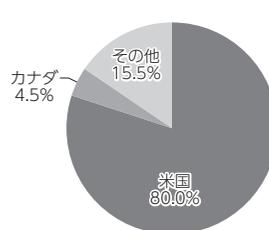
(2023年1月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
					%
1	US TREASURY N/B 3.0000% 31/07/24	国債	米ドル	米国	1.3
2	US TREASURY N/B 3.8750% 30/11/27	国債	米ドル	米国	0.7
3	CARNIVAL CORP 5.7500% 01/03/27 144A	一般消費財・サービス	米ドル	米国	0.7
4	FS ENERGY & P 7.5000% 15/08/23 144A	エネルギー	米ドル	米国	0.6
5	CCO HOLDINGS 4.7500% 01/03/30 144A	コミュニケーション・サービス	米ドル	米国	0.6
6	FORD MOTOR CO 4.7500% 15/01/43	一般消費財・サービス	米ドル	米国	0.5
7	IHO VERWALTUNGS PIK 15/09/26 144A	一般消費財・サービス	米ドル	ドイツ	0.5
8	FIRST QUANTUM MIN 7.5% 01/04/25 144	素材	米ドル	ザンビア	0.4
9	T-MOBILE USA INC 4.7500% 01/02/28	コミュニケーション・サービス	米ドル	米国	0.4
10	MSCI INC 3.8750% 15/02/31 144A	金融	米ドル	米国	0.4
	組入銘柄数		1,195銘柄		

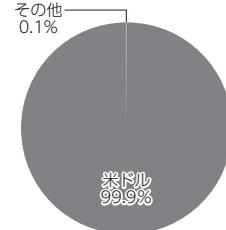
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】

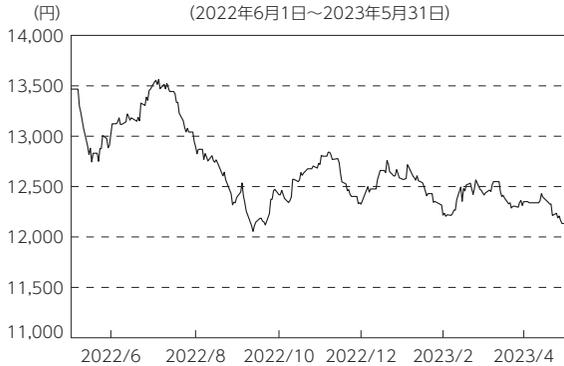


- (注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書 (全体版) に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。  
 (注) 組入外貨建資産について、原則として為替取引により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

## ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－欧州債券FC

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。  
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## 【純資産価格の推移】



(注) 分配金を分配時に再投資したもものとして計算しております。

## 【1万口当たりの費用明細】

(2022年6月1日～2023年5月31日)

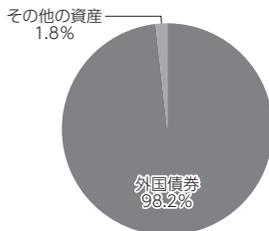
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

## 【組入上位10銘柄】

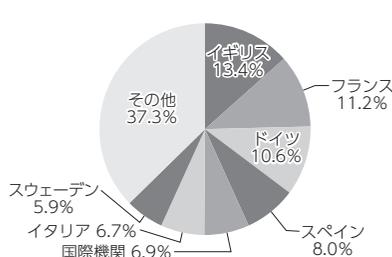
(2023年5月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	SWEDISH GOVERN 0.7500% 12/05/28 1060	国債	スウェーデン・クローナ	スウェーデン	3.1%
2	UK TSY GILT 4.1250% 29/01/27	国債	英ポンド	イギリス	2.5%
3	SPANISH GOVT 3.1500% 30/04/33	国債	ユーロ	スペイン	2.3%
4	REP OF AUSTRIA 2.9000% 20/02/33	国債	ユーロ	オーストリア	2.2%
5	KFW 2.5000% 19/11/25 EMTN	金融	ユーロ	ドイツ	2.1%
6	BTPS 2.8000% 01/12/28 10Y	国債	ユーロ	イタリア	2.0%
7	REP OF AUSTRIA 0.9000% 20/02/32	国債	ユーロ	オーストリア	1.8%
8	DEUTSCHLAND REP 2.1000% 15/11/29	国債	ユーロ	ドイツ	1.7%
9	NETHERLANDS GOVT 2.5000% 15/07/33	国債	ユーロ	オランダ	1.7%
10	UK TSY GILT 1.7500% 22/07/57	国債	英ポンド	イギリス	1.4%
	組入銘柄数		227銘柄		

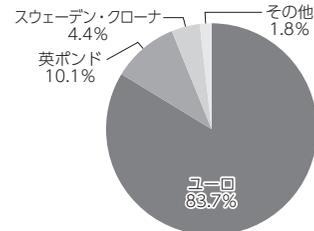
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。  
 (注) 組入外貨建資産について、原則として為替取引により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

## ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅡ－新興国債券FC

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。  
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## 【純資産価格の推移】



(注) 分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

## 【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月1日～2023年2月28日)

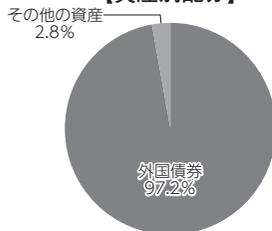
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

## 【組入上位10銘柄】

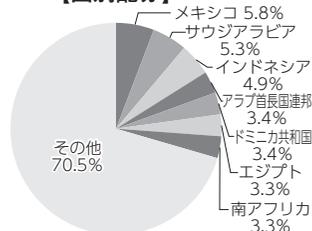
(2023年2月28日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
					%
1	CHILE 2.5500% 27/07/33	国債	米ドル	チリ	1.1
2	PETROLEOS ME 10.0000% 07/02/33 REGS	社債	米ドル	メキシコ	1.1
3	COLOMBIA REP OF 8.0000% 20/04/33	国債	米ドル	コロンビア	0.9
4	REPUBLIC OF E 2.5000% 31/07/35 REGS	国債	米ドル	エクアドル	0.9
5	PHILIPPINES (REP) 1.9500% 06/01/32	国債	米ドル	フィリピン	0.8
6	UNITED MEXICAN 2.6590% 24/05/31	国債	米ドル	メキシコ	0.8
7	ARGENTINA 1.5000% 09/07/35	国債	米ドル	アルゼンチン	0.8
8	DOMINICAN REP 6.0000% 22/02/33 REGS	国債	米ドル	ドミニカ共和国	0.8
9	OMAN INTRNL B 6.7500% 28/10/27 REGS	国債	米ドル	オマーン	0.8
10	GALAXY PIPELI 2.9400% 30/09/40 REGS	社債	米ドル	アラブ首長国連邦	0.8
	組入銘柄数		653銘柄		

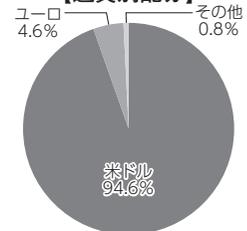
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。  
 (注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書 (全体版) に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。  
 (注) 組入外貨建資産について、原則として為替取引により為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### ○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) の指数値及び東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

### ○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行なわれる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

### ○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行なう際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)